

## 代表質問質問事項・ 答弁の要旨 (つづき)

問) 西国分寺駅北口駐輪場増設は大いに評価。国分寺駅北口地下駐輪場の21年度の実績は。  
市長) 鉄道事業者と6回協議を行なった。21年度、有識者会議の設置をし、検討を進めていく。  
問) 環境と農業を軸とした緑の社会への構造改革について、市長の認識と市の取組みを問う。  
市長) 公共施設に太陽光発電導入。今後、環境施策は市の柱になる。国分寺駅北口再開発も環境に配慮した計画とする。都市農業の維持は市の大きな課題。市民農業大学、学童農園の形で市民が農業に親しむことで大切さを周知したい。  
問) ごみ減量化は必須事項。今一度徹底した分別化を図り、減量・経費節減を市民と共に検討する必要性を感じる。ごみを収集する側と出す側、双方に視点を置くべきと考える。所感は。  
市長) 廃棄物の減量及び再利用推進審議会にてごみ減量化施策の検証、収集運搬回数の見直し・経費削減等の議論中。施策に反映したい。また、目標数値達成に向け、分別説明会や啓発活動、ルール未遵守先には指導の強化を図る。  
問) 携帯電話メール配信利用の職員安否確認システムの導入は評価する。訓練の具体的計画は。  
市長) 年度内に登録・試験メール配信。新年度から月1回テストメール配信で訓練を重ねる。  
問) 図書司書小学校全校常駐化、中学校週3日勤務は前進である。将来的に全日配置を目標に。  
市長) 子どもたちの読書離れに歯止めをかけ、心豊かな教育を行なう。今後は十分協議したい。  
問) 事業仕分けの予算反映の仕方と、PDCAサイクルの確立のためにも、毎年作業実施すべき。  
市長) 先行自治体の例から予算削減効果があると見込まれる。仕分け作業は継続して取り組む他の質問●国分寺駅北口再開発の事業費精査●地域バスの早期結論●特定行政庁人材育成

### 自由民主党市議団

高橋 健一

### 北口再開発事業・ スポーツ行政の推進を！

問) 国分寺駅北口再開発事業については、本年1月14日に開催された臨時議会で関係条例が可決され、現在、事業計画の縦覧が開始された。その後の状況は？  
市長) 縦覧を実施しているが、特段大きな御意見はいただいていない。このまま事業認可に向かいたい。権利者の皆様にも温かい御理解をいただき、前段の話し合いを進めている。これから個別の話になり、いろいろな御意見が出てくると思うが、誠意をもって当たりたい。工事が始まると、今3,000台ほど利用されている駐輪場がなくなるので、その点も周辺の権利者と交渉を進めている。  
問) 北口周辺の若い方のグループが商店街の活性化を話し合っている。再開発後に向け行政としても応援してほしい。  
国分寺市はスポーツ施設が少ない。スポーツ振興基本計画に基づく実施計画の策定は？  
教育長) 十分な施設が確保できず市民の皆様にご不便をおかけしている。スポーツ施設で指定

管理者制度を導入しており、自主事業を展開していく。教育委員会で実施計画を明らかにし、一歩でも前進させたい。  
市長) リトル・シニアリーグの専用グラウンドがなく、転々としながら練習している苦しい事情を伺った。他のスポーツに親しまれている方々も同様の思いであろう。近隣の市や都にも力をお借りしたい。

問) 現在、小・中学校で取り入れている職場体験の効果、理科の授業で実験を増やすことの重要性についての見解や今後の取組みは？

教育長) 職場体験のねらいは、今の子どもたちが苦手とする人間関係をつくる力、将来設計、はっきり意思を示す力、情報を活用する力などを培うことにある。商店、事業所、公的機関にお世話になっているが、これからも重視する。

問) 昨年の暮れの新聞によると、都内の公立学校で精神性疾患で休職した教員の数は10年間で3倍以上になっており、その原因で強調されたのは、子どもや保護者への対応が昔ながらのやり方では通用しなくなったということ。(仮称)子どもの権利条例の検討の進捗状況は？

裁判に訴えるような事例がたくさん出ている中、先生や教育委員会や役所は訴訟の相手にならないよう、条例づくりは十分慎重に！

教育長) ワークショップ、庁内の検討会を経た素案を推進本部で逐条解説を含め検討している。

問) 都市計画道路3・2・8号線について、昨年、道路特定財源の一般財源化が閣議決定され、財源の仕組みが変わることで東京都の道路予算が削減された。3・2・8号線や街路事業全体におくれが出ないか心配だが？

市長) 19年11月に事業認可を取得し事業に着手した。19年度約37億円の用地取得、20年度も順調に進み現在3割程度の用地を取得。議員指摘の予算の縮小も懸念する。街路事業におくれがないよう、東京都に財源の確保、円滑な事業推進を強く求めていく。

まとめ) 施政方針の中で、西元町の文化拠点施設の整備、図書司書の配置についての項は評価している。北口再開発の予定どおりの進行、まちづくり条例の早期見直しをお願いした。

### 国分寺・生活者ネットワーク

片畑 智子

### 市民力・地域力で 支え合いのしくみづくりを

(1) 地域コミュニティについて

問) 地域コミュニティの現状は、地域の共同体としての機能低下、多種多様な家族形態や生活スタイルの中で市民の問題意識や関心事も分散されがちなことなど、自然発生的にグループが発展しにくい状況にある。そこで、行政の支援として、共通の問題意識・テーマを持った市民が出会う「機会」と「場所」の提供を求める。

市長) 行政が何らかの働きかけをする必要性は理解している。その一環として受け止める。

問) 休日の学校施設を地域へ積極的に開放したり、学校だよりを地域に全戸配布するなど、学校を地域の核に位置づけ、学校と地域住民との連携をすすめる中で地域コミュニティの熟成につなげる取組みも必要ではないか。

教育長) 施設開放については学校図書館の地域開放を検討している。学校だよりは町内会・自

治会に回覧している。

(2) 地域福祉について

問) 現在のように「自助」と「公助」しかない社会は、市民にとっても生きにくい。市民同士の支え合いである「共助」が機能する環境を整えていくためには、まず、市民自らが地域の課題を解決し、新しい公共の分野を担っていく主体者であることを自覚、認識することが不可欠である。その上で市民や市民団体、関係機関等で役割と責任を明確にし、みんなで大いに議論し問題意識を高めながら、一つひとつ実行や実践に結びつけていく地道な作業が求められる。

市長) 以前よりご提案のあった「地域福祉計画」を市民参加で進めていく考えを持っている。

(3) 子ども施策について

問) 現代の子育てや子育てについては、児童福祉法の枠を超えた総合的な支援が求められていることから、子どもの成長や実態に合わせた組織改編が支援の充実に大きくつながる。子ども福祉部の組織体制について次の3つを提案する。

①就学前の支援施設である保育園、幼稚園、つくしんぼに関する所管の一元化。②学童期から高校卒業時までの相談支援体制の組織的な連携。

③学童保育の実態に合わせ、小学校併設の学童保育については、教育委員会社会教育・スポーツ振興課(放課後子どもプラン)との一元化。

市長) 子どもの成長に応じた施策が必要だという視点から、大変貴重な提案と受け止める。

(4) 若年層の就労支援について

問) 障害者就労支援センターの相談・支援対象を拡大し、行政支援の狭間に置かれている就労が困難な若年層への就労支援を求める。その際には、利用しやすいよう名称の工夫を。

市長) 実績や事例を踏まえながら検討したい。

(5) 行政改革について

問) 職員の非常勤化に伴う課題解決のため、同一価値労働同一賃金の考え方にに基づき実態に合わせた雇用契約の検討と、雇用形態の違いによる働きにくさの解消への取組みを求める。

市長) 検討の中で十分考察してまいりたい。

(6) 環境施策について

問) 学校で緑のカーテンの取組みを求める。  
教育長) 教育委員会としても期待している。

次ページにつづく▶

### 第2回定例会までの議会の開催状況

委員会はどなたでも傍聴できます。

平成21年第1回定例会～平成21年第2回定例会の間に開催する委員会等は下記のとおりです。

記

平成21年3月25日(水)	文教委員会
4月2日(木)	議会運営委員会
6日(月)	代表者会議 議会運営委員会
8日(水)	第2回臨時会
13日(月)	厚生委員会

### 次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成21年第2回定例会は、5月11日(月)から開会の予定です。

※本会議は市役所第一庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当(内468)